



海藻のしおり

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

クシベニヒバという海藻を台紙にのせて乾燥させ、しおりを作ります。

1 ねらい

海藻のしおりを作ることを通して、海藻について興味・関心をもたせます。
(小学校 理科)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 自然観察室 40人以内 (1グループ4～8人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2日間にわたって1時間半程度 (乾燥時間は含まない)

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

| 区 分 | 準 備 物 | 備 考 |
|------|---|----------|
| 団 体 | ・特になし | |
| 個 人 | ・特になし | |
| 自然の家 | ・クシベニヒバ ・海藻のしおりづくり用具 (バット・ハサミ、ピンセット、柄付き針、ふきん、 吸い取り紙、穴あけパンチ、ゴム印、新聞紙等) | |
| 斡旋可能 | ・海藻のしおりセット (台紙1、ラミフィルム1、リボン、ペン・色鉛筆) | ・1セット20円 |

5 引率者の役割分担

| 係 名 | 役 割 |
|-------|-------------------|
| 代表責任者 | ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 |
| 救護係 | ・緊急時の救護にあたる。 |

6 活動の流れ

1日目 (1～2時間)

- ① 用具の準備と諸注意、活動の説明
- ② しおり作り (次ページの①～②)
- ③ 片づけ
- ※しおりを乾燥させる (6時間以上)

2日目以降 (1～2時間)

- ④ 作り方の説明
- ⑤ しおりづくり (次ページ③～最後まで)
- ⑥ まとめ・片づけ

7 その他

- ・乾燥に6時間以上かかるので、最終日にはできません。
- ・海で拾った海藻を使ってつくることもできます。

クシベニヒバ



・北海道、樺太、太平洋沿岸北部、朝鮮半島に生息する海草。

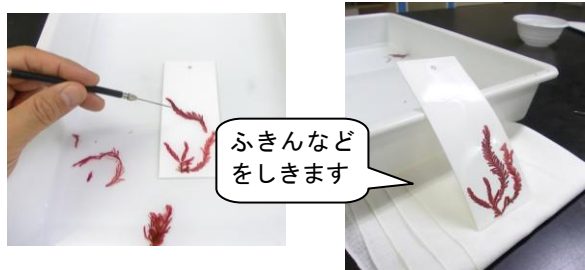
・紅く枝が櫛上で全体がひのきの葉を思わせる。

・種差海岸にも生息しているが場所が限られ稀少である。

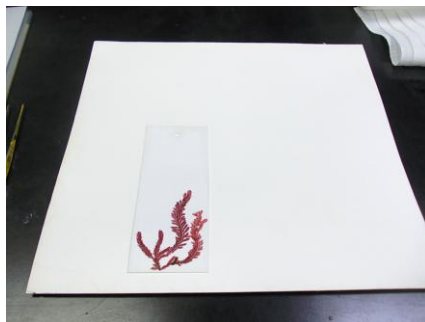
海藻のしおりの作り方

1 日目

① バットに海藻と水、台紙を入れて、解剖針で形を整えます。できたら静かに引き上げ、水を切ります。



② 吸い取り紙にのせて、6時間以上乾燥させます。

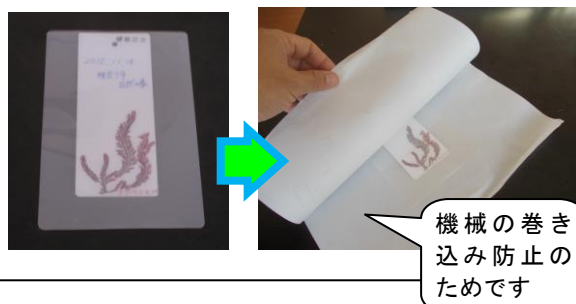


2 日目

③ 乾いていることを確認してから、ゴム印やペン・色鉛筆などで文字を入れたり、模様を入れたりします。



④ ラミフィルムにしおりをはさみ、さらに二つ折りのコピー紙にはさみます。



⑤ ラミネートにかけたあと、5mm程度のこして余分なところを切ります。



⑥ 穴あけパンチで穴をあけて、リボンをつけます。



つくる時のポイント

- 海藻は大きいものよりも、小さいものをていねいに広げた方がきれいに仕上がります。
- 海藻を組み合わせ、花や動物のようにしても楽しいです。



完成！